

ゲリラ豪雨に対応し、新しい通行規制基準を試行します

～富山河川国道事務所管内1箇所を試行～

- 全国的にゲリラ豪雨等、時間50mmを上回る降雨が、最近30年間で1.3倍に増加しているなど、近年、雨の降り方が局地化、集中化しています。
- こうした気象の変化から、突然の大雨により土砂災害等が発生し、道路が通行止めになるなど、従来あまり見られなかった形態の災害が増えています。
- 今般、こうした気象や災害の変化に即応できるよう、富山河川国道管内の1箇所において、新しい通行規制方法を試行します。ポイントは次のとおりです。
 - ポイント1：局地化、集中化した降雨に対応します。
 - ポイント2：連続雨量基準を見直します。
- 試行導入区間：一般国道41号 富山市庵谷～楡原
 - ※全国では、一般国道18路線24区間
- 期 間： 6月23日より試行実施

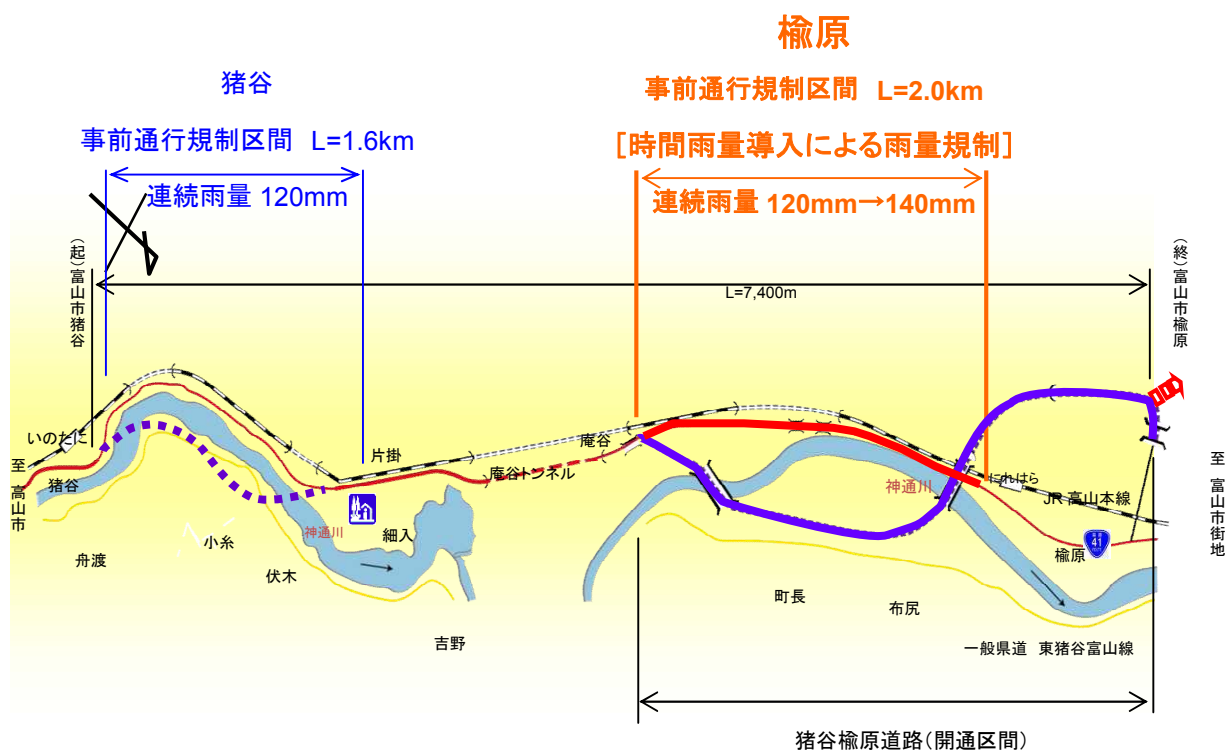
<問い合わせ先>

北陸地方整備局 富山河川国道事務所 副所長 堀 尚紀

道路管理第一課長 勘田 誠一

TEL 076-443-4701 (代) FAX 076-443-4723

【位置図】

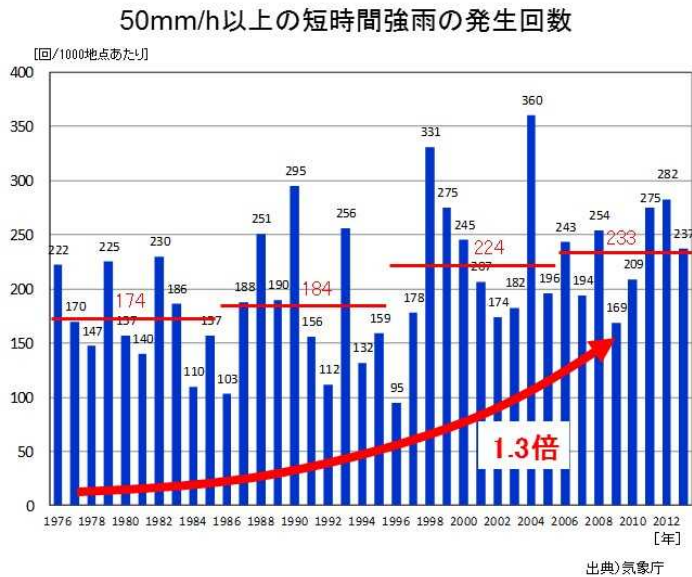


【試行区間】

路線名	呼称	導入区間	区間延長 (km)	規制基準雨量値の変更
国道41号	楡原	富山市庵谷 ～ 富山市楡原	2.0	【変更前】連続雨量120mm以上 【変更後】連続雨量140mm以上 局地化・集中化した降雨を考慮

1. 増加する短時間強雨

- ・時間50mm/h以上の短時間強雨の発生件数は、1970年代に比べて、2000年代は約1.3倍に増加。



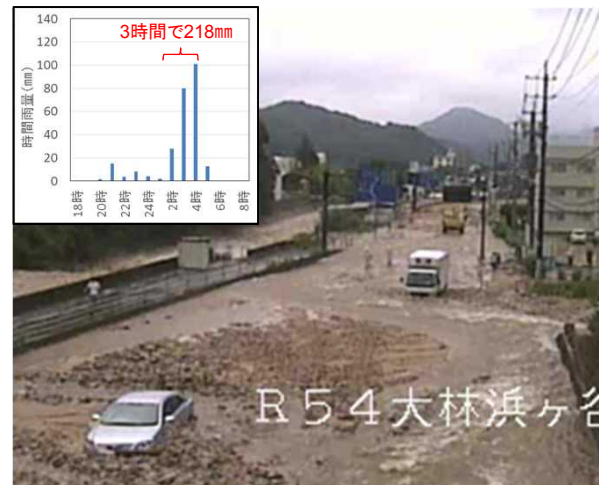
2. 短時間強雨による災害

- ・短時間強雨の発生増加にともない、各地で土砂災害等による通行止めが発生し、通行車両が巻き込まれる事態も発生。



H25.8.9 国道46号 岩手県雫石町

- ・5時間降水量が平年の8月1ヶ月間の降水量の206mmを超える216mmを記録。
- ・国道46号の9箇所で土砂 流出や冠水などの災害が発生し、3日間の通行止め。

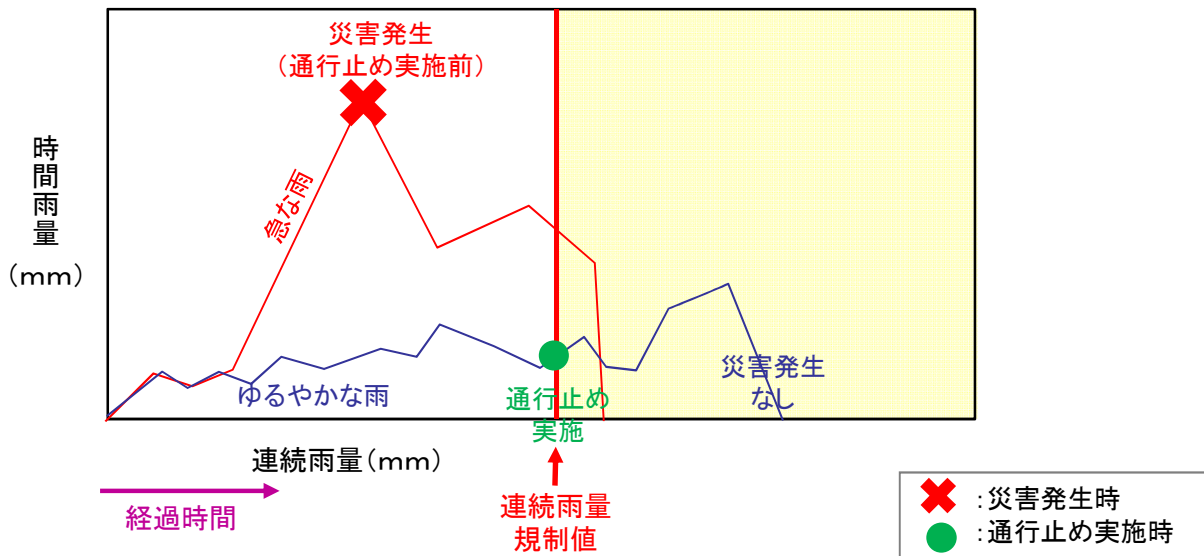


H26.8.20 国道54号 広島県広島市

- ・3時間降水量が観測史上最大となる217.5mmを記録。
- ・各地で土砂流出による災害が発生し、国道54号では、約15時間の通行止め。

1. 今までの雨量規制

- ・連続雨量(累積雨量)により雨量規制を行っており、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨(時間雨量が大きい)に対しては、通行規制前に災害発生の場合もあり。
- ・一方、連続雨量規制値についても、経験的設定値であり、通行止めを行っても、災害発生がない場合もあり。



2. 時間雨量導入による雨量規制

- ・時間雨量を雨量規制に導入することにより、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨に対しては、災害発生前に通行止め実施が可能。
- ・連続雨量規制値についても、適正化を行うことにより、通行止め回数の減少が期待。

